

# 下水道を知ろう

## 下水道 水がいからの 守り神

「ご存じですか「下水道の日」」

9月10日は「下水道の日」です。昭和36年、遅れている下水道の普及を全国的に進めるため「全国下水道促進法」として始まりました。当時の下水道普及率はわずか約6%でした。

また、「雨水の排除」は下水道の大きな役割の一つです。そのため台風シーズンである210日を過ぎた220日が適当であるとされたことから、9月10日となりました。

下水道へ早期接続を

下水道は、市が工事を行っただけでは意味がありません。み

なさんが使ってこそ自然を守り、生活環境を改善することができます。

下水道が使用できるようになった区域は、下水道法などに基づいて市が公示します。この区域に住んでいる人は、家の便所が汲み取りの場合、公示の日から3年以内に水洗便所に改造し、下水道に接続しなくてはなりません。また、合併浄化槽などを使用している場合は早急に排水設備を設置し、下水道に接続しなくてはなりません。

下水道が使える区域内に住んでいて、まだ下水道への接続が済んでいない人は、早期接続にご協力をお願いします。

水洗便所改造貸付金

市では水洗化を促進するため、汲み取り便所や単独浄化槽の水洗化改造工事を供用開始から3年以内に行う場合、25万円を限度として無利子で貸し付ける制度を設けていますので、ご相談ください。

工事は指定の工事店で

便所の水洗化などの工事(宅内排水設備工事)は、市が指定した工事店(印西市指定下水道工事店)でなければ施工できません。

工事が不完全だと臭いが家中にこもったり、排水管が詰まったりといった問題が起こります。指定工事店の名簿は下水道課で配布しています。

下水道課工務管理班(☎内線786)。

# より良い未来をつくるため 社会生活基本調査を実施

総務省統計局では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。この調査は、国民生活の実態を明らかにするために、統計法(国の統計に関する基本的な法律)に基づいて実施する、国の重要な統計調査です。

調査結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進、少子高齢化対策、ボランティア活動の状況の把握など、国や地方公共団体に於ける各種施策の基礎資料として活用されます。

調査をお願いする世帯には、10月上旬から中旬にかけて調査員が伺い、調査票を配ります。また、インターネットで簡単に回答することもできます。ご回答をお願いします。 圏千葉県総合企画部統計課(☎043-223-2223)。



# 老人週間

9月15日(木)～9月21日(水)は老人週間です。

市では、今年度米寿を迎える人に祝い品を、古希、傘寿を迎える人には「印西市高齢者福祉のしおり」を自宅に郵送します。

また、紀寿の満100歳を迎える人には、長寿を祝い、多年にわたり社会の発展に寄与していただいたことに感謝し「祝い金3万円」を市長が本人に手渡しします。

圏高齢者福祉課生きがい支援班(☎内線271)。

# プール開放、利用者約 9,000 人!

7月21日～8月11日、夏休み期間中の小学校プールが開放されました。今年は民間委託の開放が8校、地域団体の開放が滝野小学校、本荻第二小学校の2校で行われ、子どもたちを中心に約9,000人が利用しました。

利用した小学生は「近くにプールがあると嬉しい、元気になる」と声をはずませていました。地域団体による解放は、小学生の保護者が中心となり、監視員などを務めることで開催されます。遊泳者の安全を確保する講習を受け、事故を未然に防ぐためにプールの状況を監視する大変な役割ですが、子どもたちにプールを楽しませたいという思いから協力いただいています。



暑くても子どもたちは元気いっぱい

圏スポーツ振興課振興班(☎428417)。

# 仲間とともに全身で躍動

市制施行20周年を記念してダンスプロジェクト INZAI が企画・運営した「ダンスパフォーマンスコンテスト～COMRADE(仲間～)」が7月31日に開催され、市内・市外から中学生以下の部17チーム、高校生以上の部7チームがすばらしいダンスパフォーマンスを競い合いました。

ステージでは、ヒップホップ、ブレイクダンスなど躍動感あれる演技が繰り広げられ、個性豊かな衣装で楽しませてくれました。また、会場で流れていた大音量の音楽に負けないほどの声援が終始飛んでいました。中学生以下の部は「one☆step」、高校生以上の部は市内で活動している「REGINA」が見事優勝。大会のテーマ「COMRADE」のとおり、さまざまな人の思いが会場を包み込み熱気溢れる大会となりました。



REGINA 3人の個性が輝いていました

圏生涯学習課文化班(☎内線544)。

# 自然の中で非日常を体験

青少年ふれあいキャンプが7月30日～31日の1泊2日、平岡自然の家で実施されました。キャンプは印西市青少年相談員連絡協議会が主催。

参加した市内小学校高学年の97人は、ウォークラリーやテント設営、野外での炊事など、普段はできない体験をする中で互いに協力し励ましあって、多くの感動を共有しました。

キャンプファイヤーやタグとり鬼ごっこでは、青少年相談員もたじたじになるほど子どもたちの熱心さ、元気さを見せてもらい、盛り上がりを見せたキャンプになりました。

来年度も夏休みの青少年ふれあいキャンプの参加をお待ちしています。 圏生涯学習課生涯学習推進班(☎内線543)。



上手にできるかな、ワクワクの飯ごう炊飯

# 楽しかった! 英語で過ごした2日間

7月21日～22日に平岡自然の家でイングリッシュ・トレセンが開催され、市内小学校の5・6年生59人が参加しました。

英語だけで過ごす2日間、14人の外国人英語講師と印西市国際交流協会や日本人の英語教育コーディネーターがボランティアとして運営に協力。小学生はグループに分かれて英会話、ゲーム、運動とさまざまな活動で英語を学習しました。

「ふだん外国の人と会話する機会がないので良かったです」「いろいろなアクティビティがあって楽しかった」「友だちができて良かったです」「もっと英語がしゃべれるようになりたい」といった感想がありました。 圏指導課指導班(☎内線532)。



1人ひとりが主役です